

## 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

多賀城市地域公共交通計画の策定にあたっては、国の補助事業（地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査等事業）を活用しており、地域公共交通確保維持改善事業実施要領において、1月末までに事業の実施状況の確認及び自己評価を行い、結果を地方運輸局へ報告をすることが定められています。

### 【地域公共交通確保維持改善事業実施要領（抜粋）】

#### 8. 事業評価について

##### （1）事業評価の実施

###### ①自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあっては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあっては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和8年 月 日

協議会名：多賀城市地域公共交通協議会

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

①補助対象事業者等	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域特性及び公共交通等の現況調査</li><li>・各種調査の実施</li><li>・現計画の検証と公共交通の問題・課題点の整理</li><li>・多賀城市地域公共交通計画（案）のとりまとめ</li><li>・協議会開催</li></ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各種データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の現状を整理した。</li><li>・市民や公共交通利用者へのアンケートや公共交通事業者、府内等へのアンケート及びヒアリング調査により市民の目的別の移動需要や公共交通の利用状況、供給側の現状と公共交通に求められている役割を把握することができた。</li><li>・各種調査結果から公共交通の問題・課題点を整理し、解決に向けた公共交通の目標及び取組を検討し、協議会に諮るための計画素案を作成。</li><li>・今後のパブリックコメントを経て、多賀城市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li></ul>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>今回の事業で実施した各種調査分析等によって、公共交通の現状としては、市内バス路線が広く整備されているものの一部エリアにおいて交通不便地域の存在が確認できた。</p> <p>各種アンケートやヒアリング調査からは、移動需要の多様化や一部運行サービスにおける低満足度、公共交通の低利用率、供給側の人材不足等が把握できた。</p> <p>これらを踏まえ、多様な交通手段により、まちづくりを支える便利で持続可能な公共交通を構築することを基本的な方針とし、地域の実情に即した計画となるよう素案を作成した。</p>	<p>既存の利用者への影響を踏まえつつ、交通不便地域の解消や運行の効率化、公共交通の利用環境整備による改善等を図るために公共交通ネットワークの再構築等を実施する。</p> <p>なお、交通不便地域の解消に向けて「交通空白」解消緊急対策事業の活用を見込んでいる。</p>
<p>【二次評価】</p>		

## 地域の概要

### 1. 基礎データ

多賀城市

人口:61,422人

(R7.3.31現在・住民基本台帳)

面積:19.69平方キロメートル

高齢化率:26.1%

交通会議開催数: 5回

(R7.4 ~ R7.11)

### 2. 公共交通の概況

#### 【乗合バス】

##### ①路線バス

運行:(株)ミヤコーバス、(株)仙塩交通、仙台市交通局  
路線:6路線(一部区間含む)

##### ②コミュニティバス

運行:塩竈市、七ヶ浜町  
路線:2路線(一部区間)

#### 【鉄道】

運行:東日本旅客鉄道(株)  
路線:在来線2路線

#### 【乗用タクシー】

運行:タクシー事業者2社  
エリア:多賀城市全域

JRの路線に加えて人口分布や施設立地状況を踏まえたバス路線ネットワークが整備されている一方で、バス停から離れた一部エリアに交通不便地域が存在しており、公共交通を取り巻く課題等を踏まえつつ、多様な交通手段により、まちづくりを支える便利で持続可能な公共交通を構築する

### 3. 公共交通の問題点

- (1)人口減少や高齢化の進行、「買い物」や「病院」といった限定された利用目的などの公共交通に対する需要が多様化している。
- (2)特定の時間帯に公共交通の利用が少ない傾向となっている。
- (3)働き方改革や人材不足等を背景に交通事業者の経営環境は厳しい状況となっている。
- (4)バス停から離れた一部エリアに交通不便地域が生じている。
- (5)運行本数や運行ダイヤなどに対する満足度の低下が生じている。
- (6)各場面における公共交通の利用率が低迷しています。  
など

#### ■公共交通を取り巻く視点と課題

##### 主な視点

- 人口減少に伴う公共交通全体の需要
- 高齢化の進行を背景に体力的、経済的要因に応じた公共交通の需要
- 買い物や病院等の限られた利用目的による移動需要
- 多賀城東部線・多賀城西部線における利用者数や収支率の推移
- 特定の時間帯における公共交通の利用者数
- 交通事業者における経営環境
- 一部エリアに生じている交通不便地域
- 一部運行サービスにおける低満足度
- 各場面における公共交通の利用率
- まちづくり事業との連携による相乗効果
- 福祉分野との連携による相乗効果
- 整備計画に掲げる目標

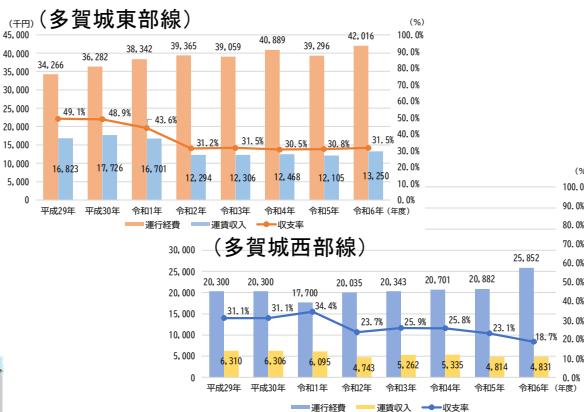
##### 課題

- 課題1 多様化する移動ニーズを見据えた公共交通サービス
- 課題2 本市に見合った適材適所による公共交通ネットワークの拡充と効率化
- 課題3 利用者満足度向上に資するための公共交通サービス改善
- 課題4 他分野との連携・協働による目標の実現

#### ■人口の推移と将来推計



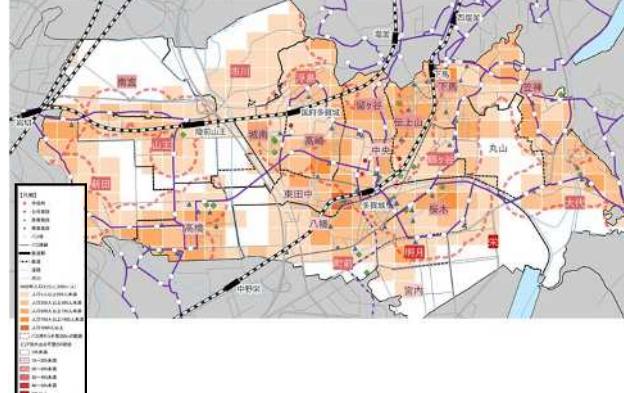
#### ■多賀城東部線及び多賀城西部線の収支状況



#### ■公共交通の利用者数の推移



#### ■交通不便地域の状況



# 多賀城市地域公共交通協議会

## 調査内容

### 【事業評価時点で完了している内容】

1. 地域特性及び公共交通等の現況調査
2. 各種調査の実施
  - (1)市民アンケート調査
  - (2)バス利用実態調査
  - (3)交通事業者ヒアリング調査
  - (4)庁内ヒアリング調査
3. 現計画の検証と公共交通の問題・課題点の整理
  - (1)多賀城市民アンケート調査
  - (2)基本目標の検討・整理
4. 協議会開催(5回)

### 【今後予定している内容】

5. 多賀城市地域公共交通計画(案)のとりまとめ
6. 協議会開催(残り1回)

## 調査結果概要

### 1. 地域特性及び公共交通等の現況調査

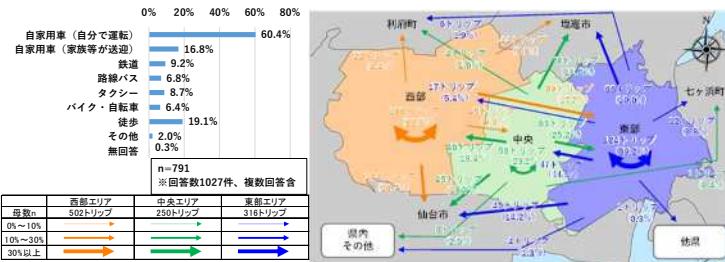
- ・人口減少、高齢化が進行する見込み。
- ・JRの路線に加え、バス路線が広く整備されているものの市内的一部エリアにおいて交通不便地域が存在している。
- ・市内において公共交通に関するまちづくりが各所展開されている。
- ・公共交通の利用者数は、令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大等の影響により大幅に減少している。

### 2. (1)市民アンケート調査結果(3,000票配布、1,275票回収(回収率42.5%)

- ・買い物物や通院では、市域内移動が多くみられている一方で、通勤・通学については、市域外への移動が多く見られている。
- ・買い物物、通院、通勤においては、移動手段としてほとんどが自家用車であり、公共交通の利用が少ないことが見られている。
- ・60代以上の6割が5年後の外出やお出かけに不便を感じており、その理由として経済的な負担や運転ができなくなることを挙げている。

#### 等

#### ■通院流动



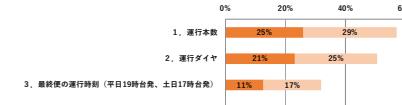
#### <課題等>

- 課題1 多様化する移動ニーズを見据えた公共交通サービス
- 課題2 本市に見合った適材適所による公共交通ネットワークの効率化
- 課題3 利用者満足度向上に資するための公共交通サービス改善
- 課題4 他分野との連携・協働による目標の実現

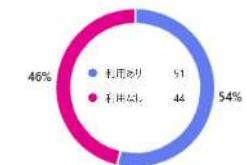
### 2. (2)バス利用実態調査結果(平日3日間、休日1日間)

- ・2路線ともに60代以上の利用者が全体の5割以上を占めている。
- ・全体利用者の5割以上が鉄道等への乗り継ぎ利用であることが明らかになっている。
- ・利用者の満足度については、総じて高いものの、「運行本数」、「運行ダイヤ」については、一部満足していない利用者が存在している。
- ・利用状況からは、平日(昼間)や休日の利用が少ない傾向となっている。 等

#### ■多賀城西部線の満足度



#### ■多賀城西部線の乗継利用の有無



### 2. (3)交通事業者及び庁内関係課等ヒアリング調査結果

- ・交通事業者においては、働き方改革や人材不足などを背景に経営環境は一層厳しい状況となっている。
- ・人件費引き上げ等により、運行経費が増加し、収支率が低迷している。
- ・庁内関係課等においては、各分野と公共交通の連携による事業効果が期待されており、福祉分野においては、高齢者等の外出機会確保や社会参加の継続、健康増進といった効果が得られるといった意見があった。 等

#### <基本的な方針>(案)

多様な交通手段により、まちづくりを支える便利で持続可能な公共交通を構築する

#### <目標>(案)

- 目標1: 公共交通ネットワークの強化を目指す
- 目標2: 便利で快適な公共交通を目指す
- 目標3: まちづくりを支える公共交通を目指す

## 今後の取組みについて

### 【スケジュール(予定)】

- 1月中旬 パブリックコメント実施
- 3月下旬 公共交通計画の決定  
議会に対する説明
- 3月中旬 協議会の開催

## 【地域の交通の目指す姿】

まちづくりを支える便利で持続可能な公共交通を構築するため、既存の利用者への影響を踏まえつつ、交通不便地域の解消や運行の効率化、公共交通の利用環境整備による改善等を図るために公共交通ネットワークの再構築等を実施し、最上位計画や関連計画に示すまちづくりへの貢献を行う。

また、一部エリアに存在する交通不便地域の解消に向け、「交通空白」解消緊急対策事業の活用を検討する。